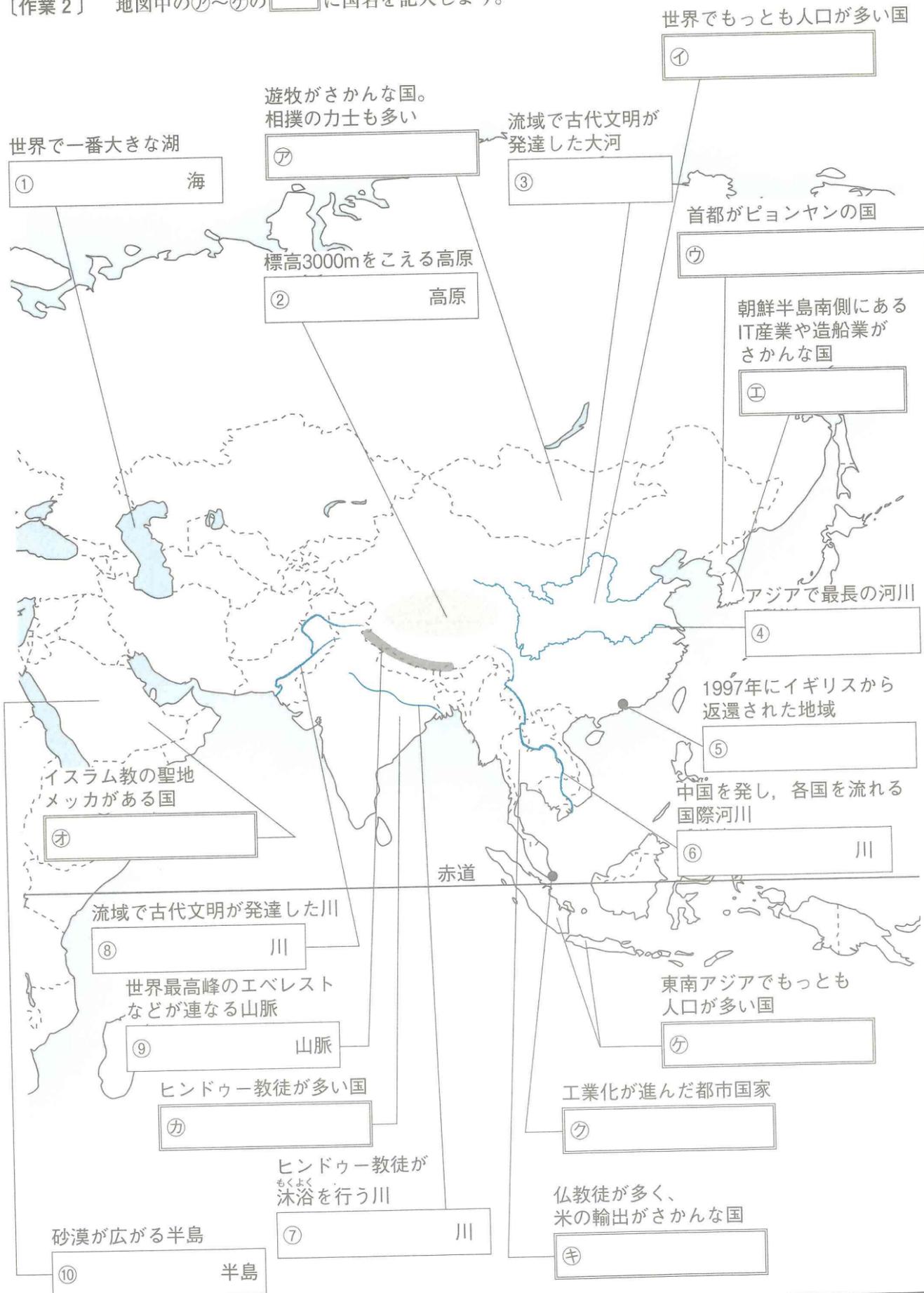


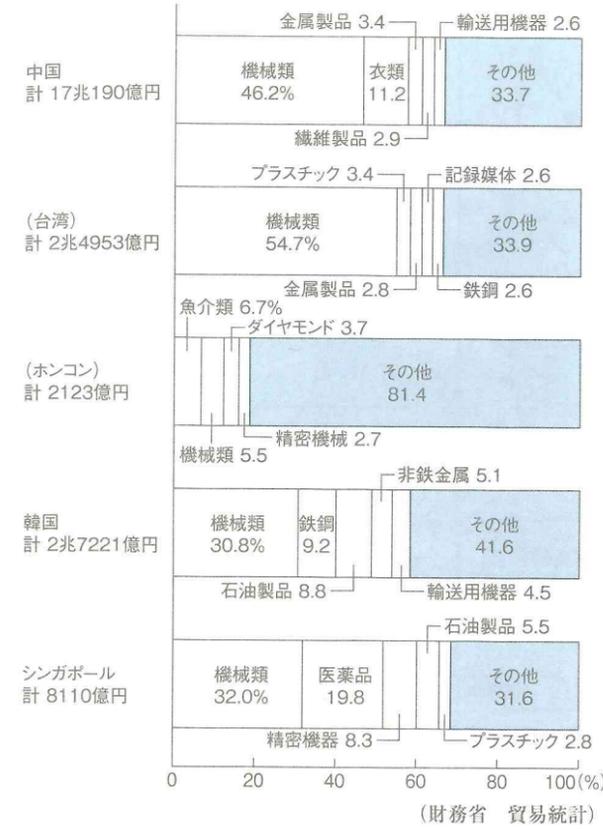
アジア州 アジア州をながめて

〔作業1〕 地図中の①～⑩の□に名称を記入しよう。
 〔作業2〕 地図中の㉑～㉒の□に国名を記入しよう。



アジア州の工業①

〔資料1〕 アジアの国、地域からの日本への輸出品 (2016年)

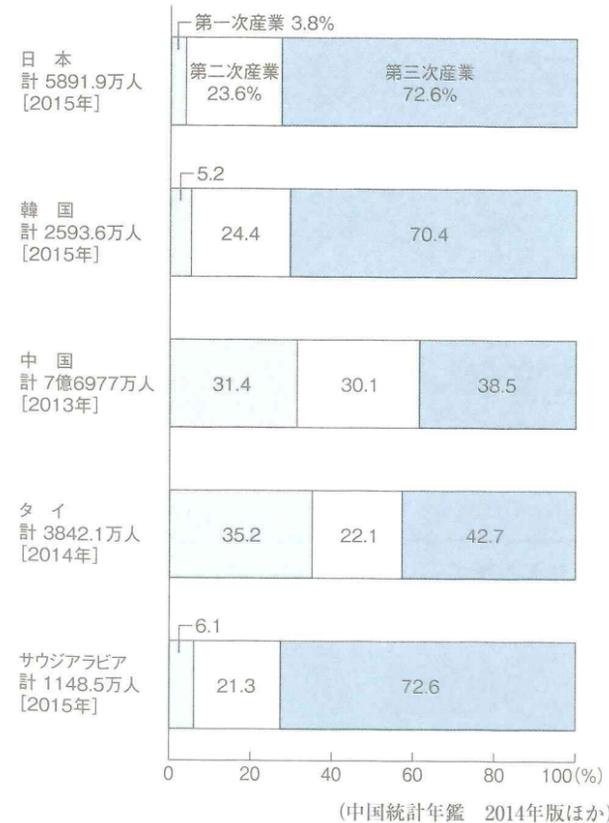


〔作業1〕
資料1の中で機械類を赤色でぬろう。

〔研究1〕
① 台湾・ホンコン・韓国・シンガポールらの急速な成長をとげた国や地域を何というか答えよう。

② 資料1を見て、アジアの国、地域から日本への輸出品について気づいたことを書こう。

〔資料2〕 アジアの産業別人口



〔研究2〕
資料2を見て、アジアの産業別人口の特色をまとめよう。

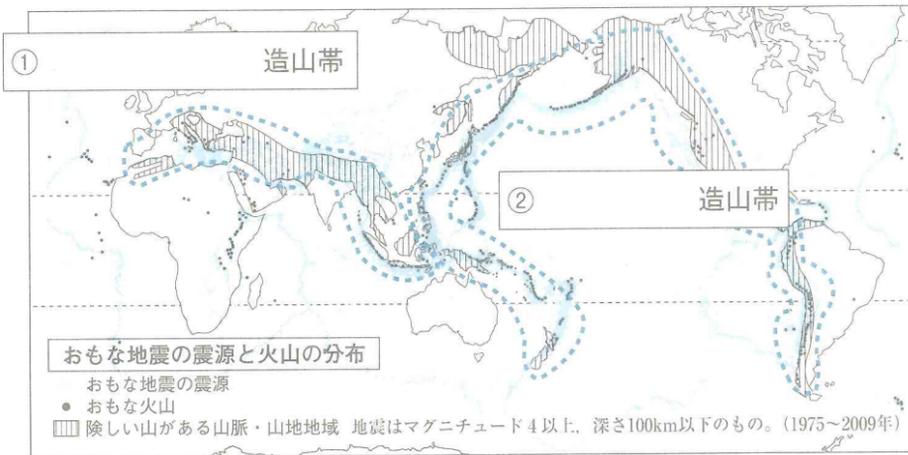
① 第三次産業の割合が一番高い国を答えよう。

② 第一次産業の割合が一番高い国を答えよう。

③ 第三次産業に従事している人口が一番多い国を答えよう。

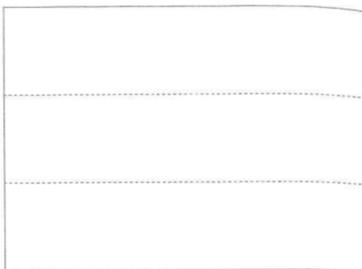
世界から見た日本のすがた 世界の地形、日本の山地と海岸

〔作業1〕 下の世界地図の①・②に当てはまる語句を記入しよう。



(ディルケ世界地図 2010年版ほか)

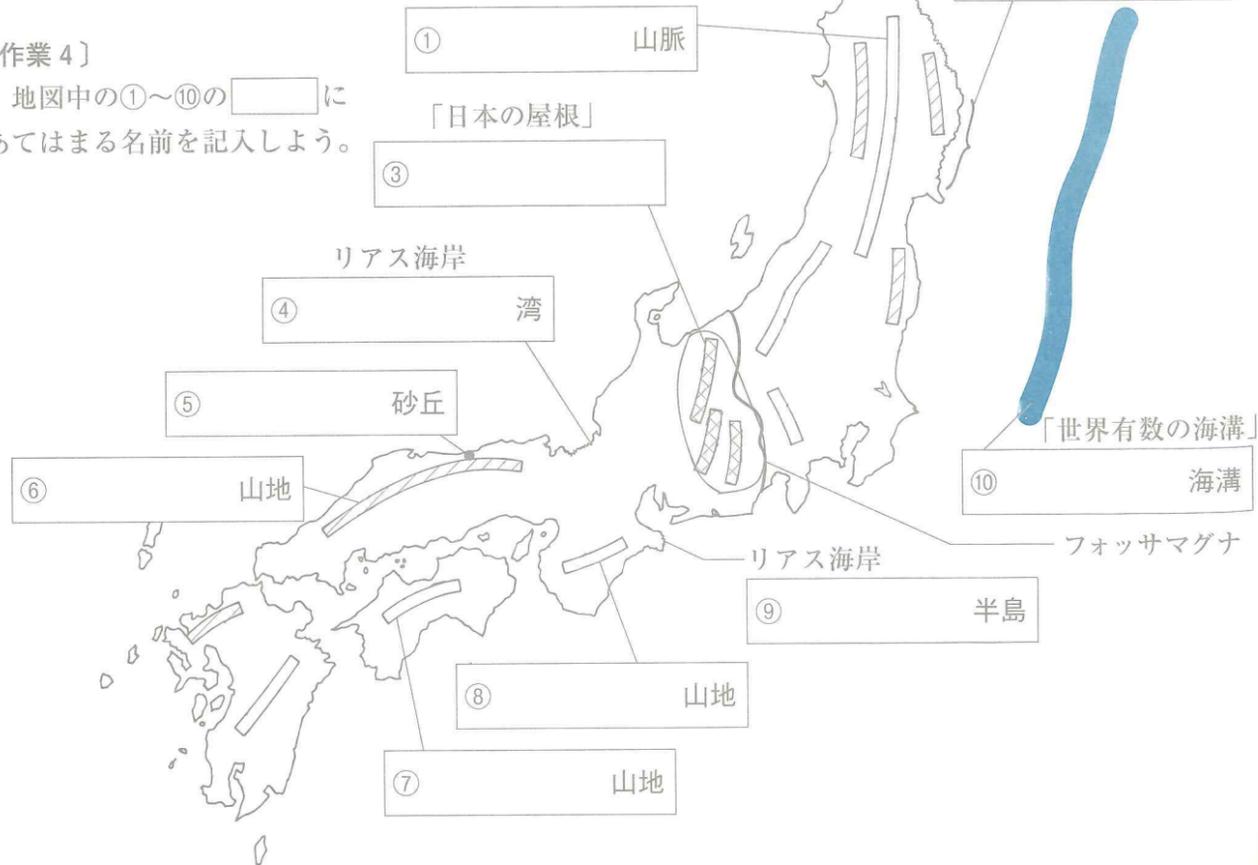
〔作業2〕 地図を参考に安定大陸を3つ探そう。



〔作業3〕 [A] から [C] の山脈と山地に、指定された色をぬろう。

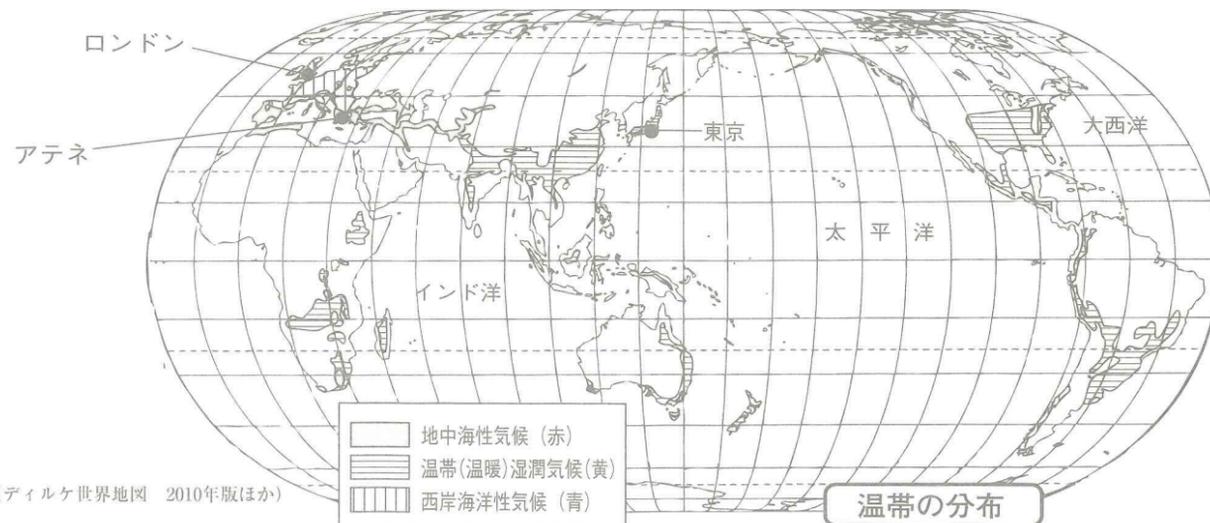
〔A〕 1000~2000mの高さのなだらかな山地 北見山地、天塩山地、夕張山地、北上高地 出羽山地、阿武隈高地、中国山地、筑紫山地	黄 ▨
〔B〕 けわしく、気候や生活に影響を与える山々 日高山脈、奥羽山脈、越後山脈、関東山地 紀伊山地、四国山地、九州山地	茶 □
〔C〕 けわしく谷も深い3000m級の山々 飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈	赤 ▨

〔作業4〕 地図中の①~⑩の□にあてはまる名前を記入しよう。



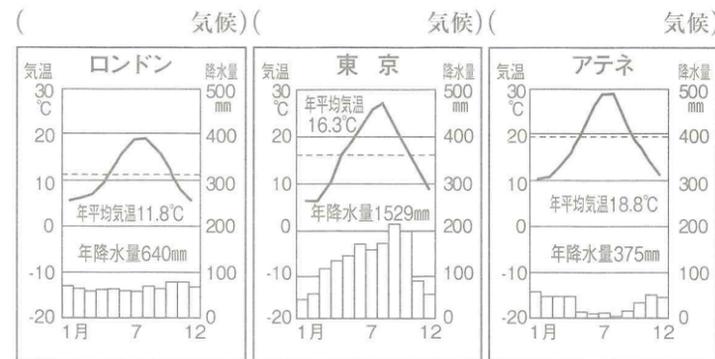
世界から見た日本の気候

〔作業1〕 教科書P.150を参考に、次の凡例にしたがって各気候区を色分けしよう。



(ディルケ世界地図 2010年版ほか)

〔作業2〕 この3つの都市は世界地図の凡例の中のどの気候に当たるか、()に記入しよう。



(理科年表 平成26年より)

〔作業3〕 気温を表す折れ線グラフは赤でなぞり、降水量を表す棒グラフは青でなぞり、気温と降水量のグラフを完成させよう。

〔作業4〕 教科書P.151を参考に、次の凡例にしたがって、各気候区を色分けしよう。

凡例

A 北海道の気候 (冷帯・亜寒帯)	水色
B 南西諸島の気候 (亜熱帯)	赤
C 日本海側の気候	黄色
D 太平洋側の気候	緑
E 中央高地の気候	青
F 瀬戸内の気候	橙

〔作業5〕 矢印⇒について、海流①~④に色をぬろう。(暖流は赤色、寒流は青色)

〔作業6〕 教科書P.145を参考に、①~④の□に海流名を記入しよう。

〔作業7〕 矢印⇄について、夏の季節風を橙色、冬の季節風を水色でぬろう。

